

# 俣郷

## 須木中学校通信 第13号

平成27年9月24日発行 文責 寺原

確かな学力・豊かな心・健やかなからだをもち、  
未来をたくましく生き抜く生徒の育成

### ☆ 創作の軌跡 9 ☆

運動会という体育的なことにも一生懸命取り組む子どもたちですが、ここで紹介するように、創作活動も意欲的にやっています。現在、17作品が新聞に掲載されています。今年は40作品ぐらい掲載されるといいなあと思っています。この作品は、須木図書館にずっと残ります。



#### 若い目

スパイク決めた

内山 喜希

先日、最後の中学総体がありました。僕は、一生懸命練習に取り組んできました。しかし、交代させられてずっとコートにいられませんでした。それで、その分応援を精いっぱいして、盛り上げられるようにしました。しかし、結果は負けてしまいました。

最後の試合では、ずっとコートに入れました。だけどサーブをミスしてしまいました。第2セットでは、ミスをした分を取り返そうと思って頑張りました。おして、最後の試合でスパイクを決められました。その時の光景は今でも目に焼き付いています。最後の試合で勝つことができました。とてもうれしかったです。しかし同時に、もうコートに立てないという悲しみも出てきてとても悔しくなりました。

僕は、中学校で培ったこの経験を生かして、高校では部活でこのような悔しい思いをしないようにするため、練習をしっかりと、良いところまでいけるように頑張りたいです。とても楽しい2年半でした。

心に残った手紙

田尻 波瑠佳

私が平和学習を通して心に残ったのは、特攻隊についての話です。特攻隊の方々が沖縄へ行く直前に書かれた手紙で特に印象深かったものがあります。それは、特攻隊の教官の方の手紙でした。何度も特攻隊に志願するのですが、妻子があり、教官であるその方にはなかなか許可がありません。しかし、それを聞いた奥さんは、夫が心おきなく沖縄へ行くことができるようにと、子どもを抱いて自ら真冬の川に身投げをします。私は、その話を聞き、必ず死ぬと決まっているのに、志願する勇気と、それを支えようとする気持ちがすごいと思いました。

私はそこまではできないと思います。でもそれは、それほど追いつめられていたということだと思っています。しかし、当時亡くなった人がいたから、今私たちが生きているという話もありました。私は、戦争のつらさや悲しさを聞くだけでなく、またその次の世代へと語り継ぐことで、二度と戦争をおこさず、平和な世の中が続くことを願っています。



#### 学園歌壇

紫陽花の青一色の一行を 車窓から見る夏の一

石川 七海

大空に両手を広げ大きく 青々とした若葉がゆれる

岩井 めいな

螢がね川で光るよピカピカと 地球全体を照らしているよ

栗原 力



# 俣郷

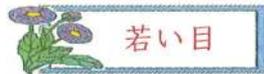
## 須木中学校通信 第13号

平成27年9月24日発行 文責 寺原

確かな学力・豊かな心・健やかなからだをもち、  
未来をたくましく生き抜く生徒の育成

### ☆ 創作の軌跡 9 ☆

運動会という体育的なことにも一生懸命取り組む子どもたちですが、ここで紹介するように、創作活動も意欲的にやっています。現在、17作品が新聞に掲載されています。今年は40作品ぐらいい掲載されるといいなあと思っています。この作品は、須木図書館にずっと残ります。



#### 若い目

#### スパイク決めた

内山 喜希

先日、最後の中学総体がありました。僕は、一生懸命練習に取り組んできました。しかし、交代させられてずっとコートにいられませんでした。それで、その分応援を精いっぱいして、盛り上げられるようにしました。しかし、結果は負けてしまいました。

最後の試合では、ずっとコートに入れました。だけどサーブをミスしてしまいました。第2セットでは、ミスをした分を取り返そうと思って頑張りました。おして、最後の試合でスパイクを決められました。その時の光景は今でも目に焼き付いています。最後の試合で勝つことができました。とてもうれしかったです。しかし同時に、もうコートに立てないという悲しみも出てきてとても悔しくなりました。

僕は、中学校で培ったこの経験を生かして、高校では部活でこのような悔しい思いをしないようにするため、練習をしっかりと、良いところまでいけるように頑張りたいです。とても楽しい2年半でした。

#### 心に残った手紙

田尻 波瑠佳

私が平和学習を通して心に残ったのは、特攻隊についての話です。特攻隊の方々が沖縄へ行く直前に書かれた手紙で特に印象深かったものがあります。それは、特攻隊の教官の方の手紙でした。何度も特攻隊に志願するのですが、妻子があり、教官であるその方にはなかなか許可がおりません。しかし、それを聞いた奥さんは、夫が心おきなく沖縄へ行くことができるようにと、子どもを抱いて自ら真冬の川に身投げをします。私は、その話を聞き、必ず死ぬと決まっているのに、志願する勇気と、それを支えようとする気持ちがすごいと思いました。

私はそこまではできないと思います。でもそれは、それほど追いつめられていたということだと思っています。しかし、当時亡くなった人がいたから、今私たちが生きているという話もありました。私は、戦争のつらさや悲しさを聞くだけでなく、またその次の世代へと語り継ぐことで、二度と戦争をおこさず、平和な世の中が続くことを願っています。



#### 学園歌壇

紫陽花の青一色の一行を 車窓から見る夏の一

石川 七海

大空に両手を広げ大きくと 青々とした若葉がゆれる

岩井 めいな

螢がね川で光るよピカピカと 地球全体を照らしているよ

栗原 力

